

# 第8次青森県保健医療計画（へき地医療対策）の進捗状況

資料 3 - 3

番号	項目	現状値の出典	策定時 (時点)	現状値 (時点)	目標値	進捗状況	令和6年度前期（R6.4-9） の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性 (取組方法の修正等)
医療を確保する体制									
A1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	11.23 人	16.18 人	現状維持	変化なし (目標達成)	・計画策定時点の医師数については13診療所、現状値については15診療所のため医師数が増加。	・へき地医療を行う医師数の継続的な確保が必要。 ・ほとんどのへき地診療所が一人診療所のため代診医派遣等の支援の継続が必要。	・へき地診療所の医師数の確保や医師派遣を行う。 ・今後も必要な代診派遣等を継続的に実施する
A2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	23.88 人	17.84 人	現状維持	変化なし (目標達成)	・計画策定時点の医師数については7病院、現状値については6病院のため医師数が減少。	・へき地医療を行う医師数の継続的な確保が必要。	・へき地医療拠点病院の医師数の確保や医師派遣を行う。
診療を支援する体制									
A3	へき地医療拠点病院からの巡回診療の実施回数	青森県医療業務課調べ	117 回/年	105 回/年	現状維持	変化なし (目標達成)	・必要な巡回診療を実施し、地域住民の医療提供体制を維持した。	・受診人数が減少している。	・ニーズそのものが減少している側面も一定数あると見られ、ニーズの実態を把握した上で、今後の取組の方向性を再検討していく必要がある。
A4	へき地医療拠点病院からの医師派遣回数	青森県医療業務課調べ	119 回/年	121 回/年	現状維持	変化なし (目標達成)	・必要な医師派遣を実施し、地域住民の医療提供体制を維持した。	・医師派遣を行う医師の確保。	・ニーズそのものが減少している側面も一定数あると見られ、ニーズの実態を把握した上で、今後の取組の方向性を再検討していく必要がある。
A5	主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上のへき地医療拠点病院の割合	青森県医療業務課調べ	71.4 %	100 %	100 %	改善（目標達成）	・主要3事業を実施し、地域住民の医療提供体制を維持した。	・引き続き主要3事業を実施していく必要がある。	・継続的な実施に向け、実施方法について随時検討を行う。

	番号	項目	現状値の出典	策定時 (時点)	現状値 (時点)	目標値	進捗状況	令和6年度前期（R6.4-9） の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性 (取組方法の修正等)
	A6	I C Tによる診療支援を実施したへき地医療拠点病院の割合	青森県医療業務課調べ	16.67 %	33.33 %	100 %	改善（目標未達成）	・各医療機関へI C Tの活用について状況確認及び情報提供を行った。 ・へき地医療拠点病院、へき地診療所にI C Tを活用したオンライン診療の導入に向け検討をしている。	・各医療機関のI C T活用の有益性についての意識が低い。	・市町村等や病院に対し、個別に事業の活用を呼びかけていくとともに、活用しやすい事業内容となるよう、随時検討を行う必要がある。
	A7	へき地患者輸送事業の実施無医地区等数	青森県医療業務課調べ	18 か所	24 か所	現状維持	改善（目標達成）	・無医地区等の患者の輸送を行い医療提供体制を確保した。	・患者数が減少している。	・輸送の回数等について随時検討する必要がある。
医療を確保する体制										
	B1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	11.23 人	16.18 人	現状維持	変化なし（目標達成）	・へき地診療所数が増加したため、医師数が増になっている。	・へき地医療を行う医師数の継続的な確保が必要。 ・ほとんどのへき地診療所が一人診療所のため代診医派遣等の支援の継続が必要。	・へき地診療所の医師数の確保や医師派遣を行う。 ・今後も必要な代診派遣等を継続的に実施する
	B2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	現況調査から	23.88 人	17.84 人	現状維持	変化なし（目標達成）	・へき地医療拠点病院数が減少したため、医師数が減になっている。	・へき地医療を行う医師数の継続的な確保が必要。	・へき地医療拠点病院の医師数の確保や医師派遣を行う。
へき地医療提供体制の確保										
	C1	医療を受けられる機会が確保されている無医地区等の割合（医療業務課調べ）	青森県医療業務課調べ	100 %	100 %	100 %	変化なし（目標達成）	・無医地区等の住民が医療を受けられる機会を確保している。	・患者数が減少している。	・無医地区等の住民が医療を受けられる機会を確保する。

（概要説明）

○限られた医療資源で、より効果的に地域の医療ニーズに応えられるよう、これまでの取組を可能な限り継続していくとともに、I C Tを活用した遠隔医療の実施など、関係機関が連携し、地域の実情に合った持続可能な医療体制を構築する。